

学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法

科目コード : 120312

## 老年看護方法論Ⅱ Nursing of the Elderly Ⅱ

担当教員	中道 淳子 磯 光江				
実務経験					
開講年次	3年次前期	単位数	2	授業形態	講義・演習
必修・選択	必修	時間数	30		
Keywords	高齢者 フィジカルアセスメント 摂食嚥下障害 看護過程 看護技術				
学習目的・目標	目的： 紙上事例から、老年期に起こり易い健康問題のアセスメント、看護援助計画・立案の知識・技術を習得し、看護過程が展開できる能力を養う。 目標： 1.ヘルスケア・アセスメントの技法について習得する。 2.紙上事例中に提示された事実から、看護に必要な事実を選び出し、部分的・断片的な情報の意味を考え関連づけて、対象であるその人全体の中に位置づけることができる。 3.高齢者が健康的に生きていくための視点をもって、看護の方向性・援助計画を立案できる。 4.対象にあわせたケアの手順書を作成することができる。				
授業計画・内容					
	内容				
1	ガイダンス、老年看護学における看護過程の展開				
2-7	【演習1】擬似高齢者体験 【演習2・3】高齢者のフィジカルアセスメントの実際（高松老人福祉センター）				
8	【演習4】看護過程の展開（グループワーク） 脳血管障害による片麻痺の高齢者への看護：事例提示・情報の整理				
9-10	摂食・嚥下機能障害を有する高齢者への看護 【演習5】摂食・嚥下機能訓練、口腔ケア				
11	看護過程の展開（グループワーク）病態の押さえ、全体像、看護の方向性、看護計画立案				
12	看護過程の展開（グループワーク）発表・全体討議・まとめ				
13	【演習6】ケア計画の立案・手順書の書き方				
14	【演習6】フットケア				
15	老年看護学における看護技術				
教科書	水谷信子他編、最新 老年看護学、第3版、日本看護協会出版会、2017.				
参考図書等	金川克子監修：最新高齢者看護プラクティス 疾病・障害をもつ高齢者の看護、初版、中央法規出版、2005.				
評価指標	演習の課題レポート（60%）、事例のグループワーク（40%）				
関連科目	老年看護概論 老年看護方法論Ⅰ 老年看護実習				
教員から学生へのメッセージ	高齢者への看護援助技術を展開することは、自立と依存の関係に目を向けることです。この単元を習得し、自分の知識と関心を高齢者に表現する技として身につけて下さい。				